

2015年
11月
No.205

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

さざなみネット第7回定期大会

おかしいという声を大事にし 背中を押せる策を

全国金融産業労働組合（金融ユニオン）近畿支部滋賀分会（さざなみネット）は、11月10日組合事務所において第7回定期大会を開きました。

浦谷分会長の開会のあいさつに続いて、中島金融労連中央執行委員長（滋賀銀行従業員組合執行委員長）が次のようにあいさつしました。

「パートや派遣で働く非正社員が昨年、労働者の4割に達したと、厚生労働省が公表した。若者を使いつぶすブラック企業が、社会問題となるなか、厚生労働省がアルバイト経験のある学生を対象に初の実態調査を行ったところ、回答者の6割が何らかの労働条件上のトラブルを経験したと答え、事態の深刻さと広がりや裏づけられた。儲けに偏りすぎた企業の社会的責任を質したい。組合として、このおかしいという声を大事にし、背中



を押せる策をと思っている。金融業界にもブラック企業が多い。金融労連の仲間にも不当解雇・処分による争議が多発している。聞いてみると、ひどい労使関係である。労使対等とはどういうことか、学習し、ものを言ってい

くことが求められている。現実を、どうして解決していくのかだ。課題は多いが十分論議してほしい。」

（議題）

- ・前分会大会以降の活動について

組合員と機関紙・交流会・電話やメールなどでつながり、と

もに成長してきた。毎月分会会議を開催し、情勢や職場の状況について論議し、機関紙を毎月発行した。金融労連・近畿地協・金融ユニオン・友好組合や民主団体の会議や集会などに参加し学習した。

- ・これからの運動について

上部団体などの運動方針に基づき活動する。

- ・前年度決算・会計監査報告・予算（案）（省略）

- ・役員について

分会長 浦谷貞子、書記長 山崎幸雄

分会委員・会計監査（省略）

- ・上部団体役員派遣について（省略）

討論では女性の働き方・組合の役割、仲間とのつながり方などについて意見を交わし、全議案とも提案通り採択されました。

大会後、交流会を開き職場の状況や思いなどを出し合い、懇親を深めました。



パリの踊り子 岩波 美智子さん 画

職場の声

55歳になり専任行員になりました。給与は以前の半分くらいになってしまいました。仕事は以前とほとんど変わりません。最近人が減ったので、むしろ仕事が増えています。いままでもがんばってきたので、できるだけと思っています。海外研修の論文提出まで押し付けられています。無理を聞いていると切りがありません。そろそろ思い切った見切らなかなと思つこの頃です。



戦争法強行2カ月 19日行動 全国で戦争法廃止までがんばろう

戦争法が強行されてから2ヵ月目の11月19日、戦争法廃止と安倍政権の退陣を迫るデモや集会が、各地で行われました。

戦争法が強行された9月19日を忘れず、国民運動で必ず廃止に追い込もうと、総がかり行動実行委員会が全国に呼びかけたものです。

国会正門前では、9000人が参加し、「憲法破壊、絶対反対」「野党は共闘」の大合唱が響き渡りました。

憲法を守る滋賀共同センターが行った滋賀県庁周辺昼休みデモでは、約40人が「憲法違反の戦争法を廃止せよ」「安倍政権は憲法に従え」などと訴えました。デモに先立ち開かれた集会では、同センター代表の玉木昌美弁護士が、2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」に全力をあげる決意を述べ、「戦争法を廃止さ



せるまで、最後までがんばって闘おう」と呼びかけました。

滋賀弁護士会は夕方JR大津駅前では安保法制（戦争法）の廃止を求める宣伝に取り組みました。弁護士15人のほか、憲法を守る滋賀共同センターや戦争させない1000人委員会などが参加し、「大きな世論の力で、法律の廃止を勝ち取りましょう」と書いたビラを配布、戦争法廃止を求める全国2000万人署名を集めました。

リレートークでは、「憲法違反の法律は国会の構成を変えれば廃止することができます。また、政権を変えれば憲法違反の閣議決定も撤回させることができます。」と訴えられました。

長浜市では、「戦争法」廃止へ大きな声を上げよう！2000万署名達成へ、長浜出発集会！が、「戦争する国づくりストップ！長浜憲法共同センター」が呼びかけて行われました。

僧侶やおカリナ演奏者など25人が宣伝、署名に取り組みました。署名には高校生が列をつくりました。

2000万人 2015年11月3日～2016年4月25日

戦争法の廃止を求める統一署名

戦争法を廃止せよ！

私たちが戦争法の廃止を訴えます

国民が主権者であり続けるために

反対運動のエネルギーを広く拡げて「安保法制」の廃棄を

戦争によって人生をめちゃくちゃにされたくない

輝く子どもをこころさせない

全労連

ひんがし

「琳派誕生400年記念 琳派京を彩る特別展覧会」が京都国立博物館であり観賞してきた。

数年前、近畿地協の春闘学習会と定期大会が、京都の洛北鷹峯であり、近くの光悦寺へ行った。今年の春闘学習会と定期大会はホテル本能寺で開催。翌日常任幹事会後特別公開をされていた近くの頂妙寺、相国寺、妙蓮寺に行き、俵屋宗達や尾形光琳の作品を観賞したことを思い出す。

琳派とは、江戸時代に現れた装飾的な作風を特色とする、俵屋宗達、尾形光琳・乾山、酒井抱一といった芸術家の一群をゆるやかにつなぐ言葉である。その源は、京都の鷹峯に住し、書をはじめ様々な芸術に関与した本阿弥光悦へと遡る。光悦が徳川家康から鷹峯の地を拝領して400年となる。

展覧会では琳派の名作が一堂に集められ、その都ぶりの美意識、日本的と評される特質を堪能でき、よいひとときを過ごした。(山崎)

